

フィールド名 清水港周辺地域

フィールドテーマ 清水港周辺地域が「つながる」「ひろがる」「にぎわう」活動

メンバー

スポーツプロモーション 3年 日下部友香、西海土和花、平井朋美
アート&マネジメント 3年 鈴木愛理
指導教員：石川宏之、小二田誠二、杉山康司

フィールドワーク実施協力者

有限会社都市環境デザイン研究所
木村精治

地域概要

清水港周辺地域は、駿河湾で水揚げされた新鮮な海産物を味わえる「河岸の市」や、観覧車や遊園地、映画館等も有する大型複合施設「エスパルスドリームプラザ」、清水港の歴史や、貿易の象徴であった缶詰産業等について学べる「フェルケール博物館」、清水次郎長の生家や清水港船宿記念館「末廣」など、魅力的な観光資源が多く存在する地域である。また、富士山が一望できる美しい景観、さくらももこさん原作の「ちびまる子ちゃん」の舞台、プロサッカーチーム「清水エスパルス」の本拠地など、多くの強みを持ち、大型外国客船の寄港による外国人観光客の存在など多彩な集客資源や多様な賑わいがある。

現在、当地域では人口減少や少子高齢化の地域課題と新型コロナウイルス収束による海外クルーズ船の再増加、集客施設整備により、地域と来訪者の交流や街なかへの人流対応が課題である。



清水港周辺地域



2023年度イベント
参加者・スタッフの集合写真

これまでの活動

2022年度以前

清水港の課題を整理した上で、メンバーにスポーツプロモーションコースの学生が多いという特徴から、スポーツを活かした地域活性化を目指す案として清水港を舞台としたロゲイニング企画「スマイルロゲイニング」を開催した。

2023年度

2022年度の反省を生かし、スマイルロゲイニング2開催に向け、準備を進めた。

1. イベントの企画・準備

最初に清水地区と浜田地区の連合自治会長さん、「清水おやこ劇場」さんとイベント内容についての意見交換会を行った。頂いた意見や2022年度イベントのアンケート結果を活かして企画を進めていき、次郎長通りを主とした周辺地域で「スマイルロゲイニング2」を開催することに決定した。

「CAFÉ OEC」の大石さんをはじめとした次郎長通り周辺に並ぶ店舗の方々のご協力のもとポイント地点の選定を行ったほか、清水地区連合自治会長の隅倉さんには移動するポイント地点としてご協力をいただいた。さらに、ニュースポーツのモルックを導入するなど工夫を施した。

2. 「スマイルロゲイニング2」の実施

12月10日（日）に「スマイルロゲイニング2」を開催した。「清水市民活動センター」をスタートとし、各地点を巡ってゴールである「美濃輪神社」を目指し、チームごとに作戦を立て、ポイントの合計を競うイベントである。反省点もあがったが、参加者に満足してもらうことができた。

2024年度の活動について

1. マップ企画・準備

私たちの代でフィールドワークとしての活動は最後になるため、2024年度の活動は今までのフィールドワークの活動を形に残し、静岡市清水港周辺地域に間接的に関わり続けるという目的のもと、静岡市清水港周辺地域のマップを作成することにした。前期のフィールドワークの活動では、実際に地域を訪問し、魅力あるお店や歴史のあるスポットをリストアップしたり、今までのフィールドワーク活動でお世話になった地域の方を中心に聞き込み調査を行った。



エスパルスドリームプラザでの調査

2. マップの作成

前期の活動で自分たちが発見したスポットを整理し、マップの作成を始めた。短い文章でお店の特徴が伝わるように文章を添削したり、魅力が伝わるような写真を撮影したりして、マップの内容を検討した。

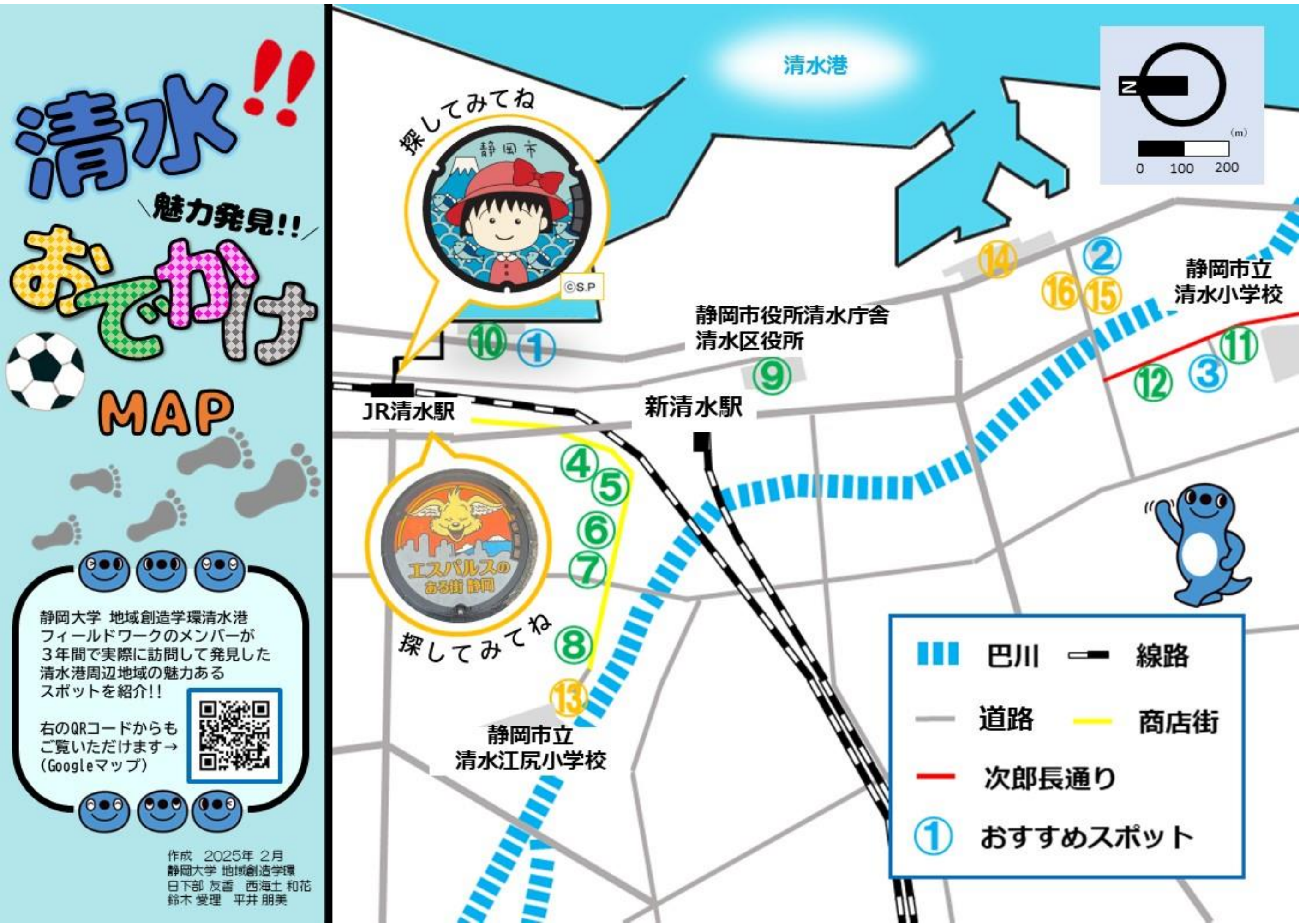
マップのデザインだけでなく、持ち歩きやすいサイズや、スマートフォンの地図アプリとの連携など、多くの人が手に取ることができる、どんな世代にも分かりやすいマップを心がけて作成した。



たかだアイスでの調査

3. マップの完成・配布

完成した「清水おでかけMAP」は2000部印刷し、2025年2月12日に行われたフィールドワーク報告会にて配布した後、マップ作成に協力していただいたお店等に訪問し、チラシを置いていただく。



作成した「清水おでかけMAP」 左：表紙 右：裏面

これまで取り組んできたフィールドワークを振り返って



日下部友香

地域の方々と交流を重ねることで清水港周辺地域の新たな魅力を発見し、活動に活かすことができました。フィールドワークを通して確実に成長できたと思います！



西海土和花

イベント運営や現地調査など、自分自身で実際に地域の方と交流することができて良い経験になりました！



鈴木愛理

現地調査を通して清水の街を身をもって知ること、地域で求められている内容を見極める力と、それらを実際に形にする企画力が身につきました！



平井朋美

地域の方々の笑顔を見ることが私の楽しみであり、FWのやりがいでもありました。これまでの活動が少しでも地域の方々の記憶に残っていれば幸いです^^